

V 線上償還に伴う経営改革促進効果（つづき）
2 年度別目標等
(5) 下水道事業

区分	目標又は実績	平成14年度 (計画前5年度) (決算)	平成15年度 (計画前4年度) (決算)	平成16年度 (計画前3年度) (決算)	平成17年度 (計画前々年度) (決算)	平成18年度 (計画前年度) (決算見込)	計画前5年間 実 績	平成19年度 (計画初年度)	平成20年度 (計画2年度)	平成21年度 (計画3年度)	平成22年度 (計画4年度)	平成23年度 (計画5年度)	計画合計	
収入の確保	① 処理区域内人口(人)	A 増減	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		B 増減	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	247	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	C 増減	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	D 増減	19,147	19,562	19,551	20,097	17,146	19,589	19,608	19,628	19,647	19,667	19,667	19,667	
		△ 673	415	△ 11	546	△ 2,951	△ 2,674	2,443	19	20	19	20	2,521	
	E 増減	163	162	158	166	183	197	201	201	201	201	201	201	
		1	△ 1	△ 4	8	17	21	14	4	0	0	0	18	
経営の効率化	⑤ 管理運営費(千円)	I 増減	3,596	3,609	3,524	3,424	3,646	3,537	3,431	3,328	3,228	3,131	3,131	
		△ 138	13	△ 85	△ 100	222	△ 88	△ 109	△ 106	△ 103	△ 100	△ 97	△ 515	
		J 増減	15	15	14	14	15	14	14	13	13	13	13	
		0	0	△ 1	0	1	0	△ 1	0	△ 1	0	0	△ 2	
	K 増減	188	184	180	170	213	181	175	170	164	159	159	159	
		0	△ 4	△ 4	△ 10	43	25	△ 32	△ 6	△ 5	△ 6	△ 5	△ 54	
	L 増減	188	184	180	170	213	181	175	170	164	159	159	159	
		0	△ 4	△ 4	△ 10	43	25	△ 32	△ 6	△ 5	△ 6	△ 5	△ 54	
	M 増減													
収入の確保	使用料回収率(%) (E/K×1,000)	867	880	878	976	859		1,086	1,149	1,182	1,226	1,264	1,264	
	増減	5	13	△ 2	98	△ 117		227	63	33	44	38	38	
	累積欠損金比率(%)	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	
	増減													
経営の効率化	⑥ 汚水処理原価(円/㎡) (汚水処理経費/有収水量)	K 増減	188	184	180	170	213		181	175	170	164	159	159
		0	△ 4	△ 4	△ 10	43	25	△ 32	△ 6	△ 5	△ 6	△ 5	△ 54	
		L 増減	188	184	180	170	213		181	175	170	164	159	159
		0	△ 4	△ 4	△ 10	43	25	△ 32	△ 6	△ 5	△ 6	△ 5	△ 54	
	N 増減													
	O 増減													
	P 増減													
	Q 増減													
	R 増減													
	S 増減													
収入の確保	⑦ 使用料収入 千円	T 改善額	3,112	3,162	3,085	3,346	3,142		3,872	3,962	3,966	3,970	3,974	3,974
		△ 106	△ 56	△ 133	128	△ 76	△ 243	730	820	824	828	832	4,034	
		①有収水量の増加	△ 106	△ 56	△ 133	130	△ 57	△ 222	448	451	455	458	462	2,274
		②使用料の適正化	0	0	0	0	0	0	261	348	348	349	349	1,655
	③収納率の向上	③収納率の向上	0	0	0	△ 2	△ 19	△ 21	21	21	21	21	21	105
	U 改善額													
	V 改善額													
	W 改善額													
	X 改善額													
	Y 改善額													
経営の効率化	⑧ 管理運営費 うち職員給与費中の退職手当を除いたもの	Z 改善額	3,596	3,609	3,524	3,424	3,646		3,537	3,431	3,328	3,228	3,131	3,131
		138	125	210	310	88	871	109	215	318	418	515	1,575	
		⑤職員給与費の適正化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		維持管理費(上記以外)の適正化 (委託料・事務費等見直し)	138	125	210	310	88	871	109	215	318	418	515	1,575
	AA 改善額													
	AB 改善額													
	AC 改善額													
	AD 改善額													
	AE 改善額													
	AF 改善額													
AG 改善額														
AH 改善額														
AI 改善額														
AJ 改善額														
AK 改善額														
AL 改善額														
AM 改善額														
AN 改善額														
AO 改善額														
AP 改善額														
AQ 改善額														
AR 改善額														
AS 改善額														
AT 改善額														
AU 改善額														
AV 改善額														
AW 改善額														
AX 改善額														
AY 改善額														
AZ 改善額														
BA 改善額														
BB 改善額														
BC 改善額														
BD 改善額														
BE 改善額														
BF 改善額														
BG 改善額														
BH 改善額														
BI 改善額														
BJ 改善額														
BK 改善額														
BL 改善額														
BM 改善額														
BN 改善額														
BO 改善額														
BP 改善額														
BQ 改善額														
BR 改善額														
BS 改善額														
BT 改善額														
BU 改善額														
BV 改善額														
BW 改善額														
BX 改善額														
BY 改善額														
BZ 改善額														
CA 改善額														
CB 改善額														
CC 改善額														
CD 改善額														
CE 改善額														
CF 改善額														
CG 改善額														
CH 改善額														
		</												

○計画前年度において使用料単価150円/㎡(20㎡当たり3,000円)未満(処理原価が150円/㎡未満の場合は処理原価未満)の事業にあっては、下記に使用料適正化の考え方を記載し、当該適正化による増収額を②に記載すること。

○「収入の確保」その他④の例：未利用地の売却、資産の有効利用(用地等の貸付)、再生水の販売収入など(記入単位は百万円とするが、会計規模により千円単位でも可とする。)

○「経営の効率化」その他⑥の例：建設コストの縮減(上下水共同施工の実施、工法の見直し・技術開発の促進など。建設改良費の抑制は除く。)、電気・機械設備等の計画的修繕による長寿命化など(記入単位は百万円とするが、会計規模により千円単位でも可とする。)

(参考) 補償金免除額	3,373
-------------	-------

(収入の確保及び経営の効率化に向けた取組について)

- 使用料適正化の考え方 平成19年度7月使用料より、一般家庭20㎡で3,255円から3570円に値上げした。
- 民間委託の取組状況 現時点で事務処理以外の管理については市内の会社に委託
- その他に記載された項目に関する取組等